

第261回 教育研究評議会議事要録

日時 令和8年5月26日（火）15時00分～16時05分
場所 甲府キャンパス大学本部棟第1会議室

出席者

（評議員）中村学長、黒澤・奥田・茅・高見・市川・木内・小林 各理事
塙・岩崎・幸田・中山 各副学長、長谷川・小泉・郷・岸上 各学域長、
服部附属図書館長、
清水・木島・小林・垣尾・齊藤・大山・島・川村 各教授
（列席者）東海林・井上 各学長補佐、小俣監事、
志村・石原 各副理事、雨宮・齊藤・斎藤・赤石・加勢・望月・京嶌 各部長
深澤・土屋 各特命参事、
永倉・植村・千野・藤田・金子・松崎・平・伊藤・四氏 各課長

議事要録確認

第260回教育研究評議会（R8.4.28開催）の議事要録を確認した。

報告事項

- 1 国際交流協定の実績について
茅理事から、資料1により、令和7年度の国際交流協定の締結・更新・締結状況について報告があった。
- 2 令和7年度補正予算 先端研究基盤刷新事業（EPOCH）の申請について
茅理事から、資料2により、コアファシリティ化（組織的な研究設備の導入・更新・活用の仕組み）を進める大学を対象とした標記事業へ申請したことについて報告があった。
- 3 研究開発マネジメント人材育成インターンシップについて
茅理事から、資料3により、標記インターンシップ（URA 業務補助）の募集について報告があった。併せて、インターンシップの内容等の周知のため、学域運営会議等にて教員向けに説明を予定している旨の補足説明があった。
なお、中村学長から、研究マネジメント人材の業務内容について十分に周知されていない現状を踏まえ、各学域への丁寧な説明をお願いしたいこと、また、人材確保のため、公募にあたっては大学ホームページに加え各学域ホームページとの連携や、転職復職希望者（学外者）に対しても積極的かつ十分な広報を行うよう依頼があった。
- 4 国立大学法人等の組織及び業務全般の見直し等に関するワーキンググループによるヒアリングの概要について
黒澤理事から、資料4により、標記ワーキンググループにより、「国立大学法人等改革基本方針」を踏まえ、機能強化に向けて各法人においてどのような組織等の見直しを行っていくのか、学長の考えを確認するためヒアリングが行われ、18歳人口の減少と総定員の考え方や、3ステップ構想（学内機構⇒学外機構⇒学環）、教員養成や附属学校の在り方などについて質疑が行われ、意見等が示されたことについて報告があった。

5 地域活性化人材育成事業～SPARC～中間評価結果等について

黒澤理事から、資料 5 により、標記中間評価において総括評価 S（最高評価）を受けたこと及び留意事項も示されたこと、また、令和 6 年度事業について自己点検・評価を経て、外部評価委員会による評価を受け 26 項目中 24 項目が「計画を十分に実施している」以上の評価をされたことについて報告があった。

6 教員の採用報告について

高見理事から、資料 6 により、教員の採用（2 名）及び昇任（1 名）を行ったことについて報告があった。

7 令和 7 年度年次有給休暇の未取得状況及び対応について

高見理事から、資料 7 により、令和 7 年度年次有給休暇の取得状況について報告があった。併せて、各学域・各部署において所属する教職員の有給休暇取得状況を踏まえ年次有給休暇の計画的な取得を促していただきたい旨の協力依頼があった。

8 文部科学省公募事業（AI for Science SPReAD）申請手続きについて

茅理事から、資料（回収資料）により、文部科学省公募事業（AI for Science SPReAD）申請手続きのトラブル（事務作業の不手際により、承認処理できなかった件）に関する概要（発生原因・再発防止策・研究者への支援策）について、報告があった。

中村学長から、本事案は非常に憂慮すべき問題であり、責任者として深くお詫びする旨の謝罪があった。自身を含め関係者の処分を行うことで検討している旨の発言があった。その上で、同様の事態を生じることがないように、全学での再発防止を徹底するよう指示があった。

審議事項

1 大学間協定の更新（案）について

茅理事から、資料 8 により、国立陽明交通大学（台湾）との包括協定及び学生交流協定を更新する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 山梨県水素コンソーシアム「H2 Innovation Hub コンソーシアム」への参画（案）について

市川理事から、資料 9 により、グリーン水素の実装を加速し持続可能な水素社会の実現に寄与することを目的に山梨県が設立を進めている標記コンソーシアムへ参画する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 COI-NEXT 山梨県におけるヘルスケア・セントラルシティ構想の推進に関する連携協定書の締結（案）について

市川理事から、資料 10 により、山梨ヘルスケア・セントラルシティ拠点の構想として推進する「マルチオミックス・コホート研究」の実施に先立ち、中央市・山梨県・（株）Taomics と本学の 4 者にて標記連携協定を締結する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 第 4 期中期目標期間 4 年目終了時評価提出調書（現況調査票）（案）について

黒澤理事から、資料 11 により、各学域にて原案を作成し、大学評価本部にて記載内容に関する審議を行い、標記調書を取り纏めたこと、今後は役員会での審議を経て大学改革支援・学位授与機構へ提出する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 学内規則の一部改正（案）について

高見理事から、資料 12 により、特別支援教育特別専攻科の廃止に伴い、関係規則を改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 令和 8 年度施設環境整備費等執行計画（案）について

市川理事から、資料 13 により、施設環境整備費等の学内予算配分を受け、老朽対策事業、安全・安心事業を中心に執行計画を作成したこと、昨年度からの変更点として倒木による樹木伐採の前倒し実施による設環境整備費（樹木一元管理）の配分額を減額し、小規模修繕を増額している旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

その他

・第 65 回国立大学協会関東・甲信越地区支部会議について

高見理事から、資料により、標記会議の概要について報告があった。

・河合塾学修・生活実態調査を用いた学生視点による教育プログラムの現状と課題

塙副学長から、資料により、教育プログラムの現状と課題の分析結果について説明があった。併せて、学生的心声をプログラム改善の手掛かりにしていきたい旨の発言があった。

なお、中村学長から塙副学長へ、重要な分析であるため各学域を対象により詳細な説明をしていただきたい旨の依頼があった。また、本分析を活用し、本学教育に対する学生の満足度向上を図っていききたい旨の発言があった。

※ 次回は、令和 8 年 6 月 23 日（火）15 時 00 分から開催することを確認した。